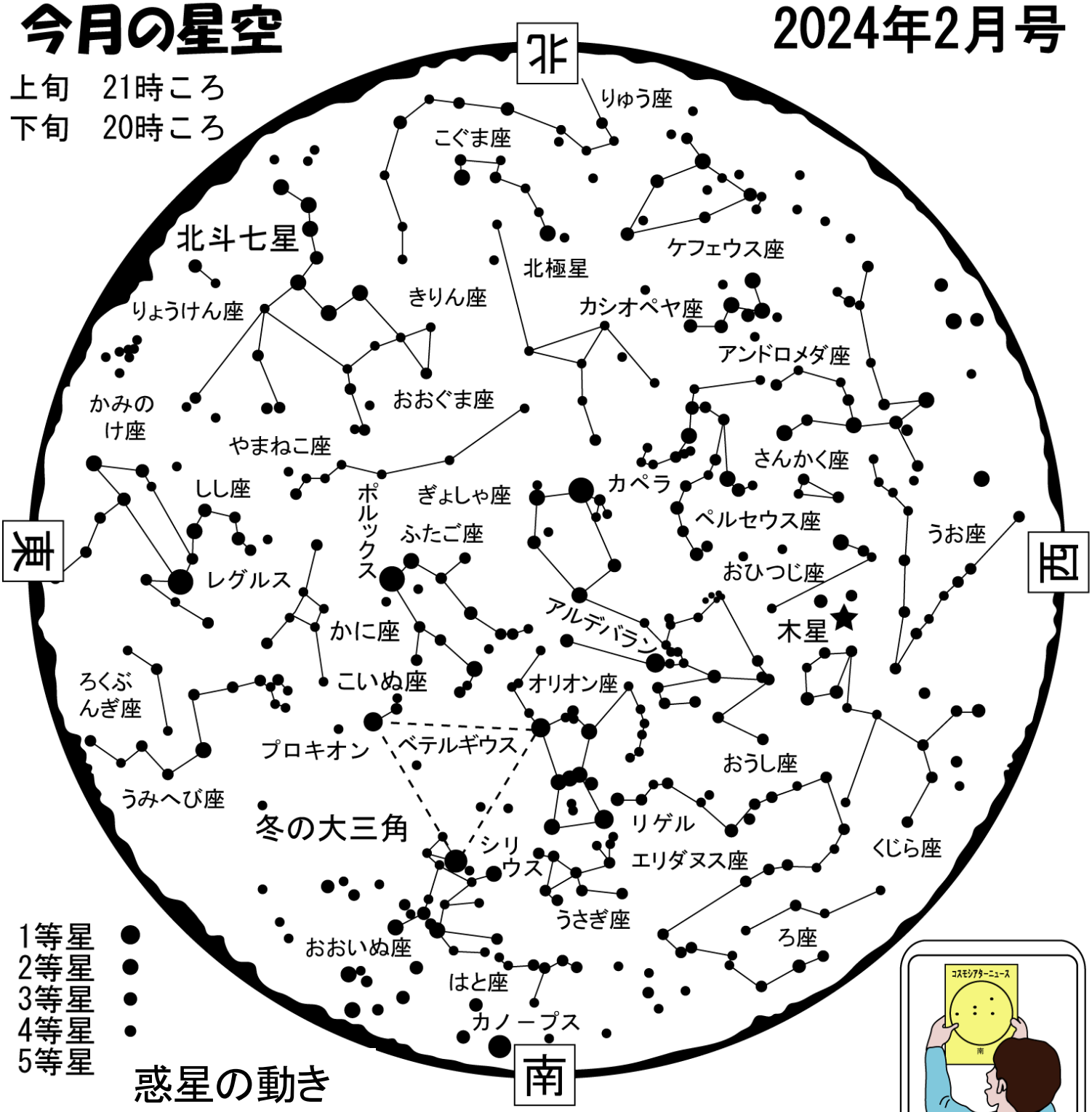
コスモシアターニュース

今月の星空

2024年2月号

上旬　21時ころ
下旬　20時ころ



自分の向いている方向を下にして、見てください

惑星の動き

水星：初旬までの明け方、南東のたいへん低い空に見えます。明るさは0等星です。
金星：中旬までの明け方、南東のたいへん低い空に見えます。明るさは-4等星です。
火星：見かけ上太陽に近く、肉眼で見つけるのは難しいでしょう。
木星：夜のはじめころ、西の空に見え、真夜前に沈みます。明るさは-2.5等星です。
土星：中旬までの夕方、南西のたいへん低い空に見えます。明るさは1等星です。

今月の月の満ち欠け

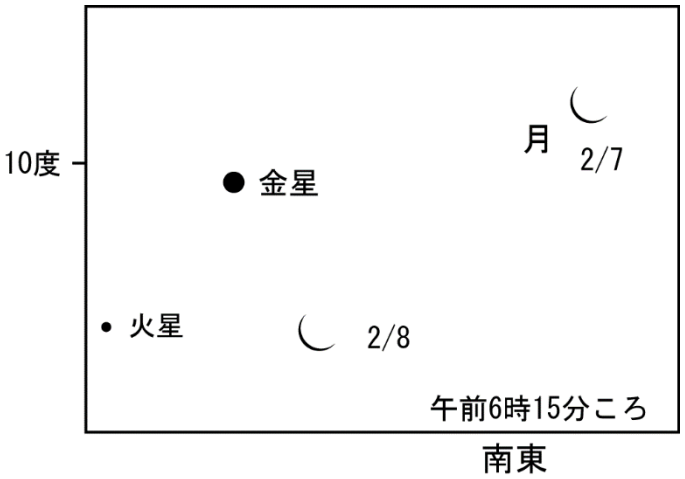
下弦：3日(土)　新月：10日(土)　上弦：17日(土)　満月：24日(土)

7日(水)～8日(木)、明け方南東の空で、月と金星が並んで輝く

明け方午前6時から南東の低い空を見ると、明るい星が見えます。この星が金星です。この金星に、7日(水)～8日(木)の明け方、細い月が並んで、大変美しい眺めとなります。

まず7日は、金星から少し離れて、右側に月が輝きます。間隔は少し広いのですが、月の高さがあるので、見やすいでしょう。そして8日は、月と金星が最も近くなります。ただし、月の高さが低いので、7日より見つけにくくなります。2日間とも高さが低いので、見晴らしがいいところでご覧ください。時間は、午前6時～午前6時30分ころがいいでしょう。

なお、右の図に火星を入れています。ただし、火星は暗く肉眼で見つけるのは難しいでしょう。興味のある方は、双眼鏡などを使って探してください、快晴に恵まれれば、見つけることができるかもしれません。



11日(日)、南西のたいへん低い空で、月と土星が並んで輝く

11日(日)の18時30分ころ、たいへん細い月が、南西のたいへん低い空に輝いています。そして、月のすぐ右下に注目すると、明るめの星が並んで輝きます。この星が土星です。土星は、普通の1等星ですので、肉眼でもすぐに見つかります。ただし、夕焼けが明るいので、小さな双眼鏡を使うと見やすくなります。

15日(木)、西の空で、月と木星が並んで輝く

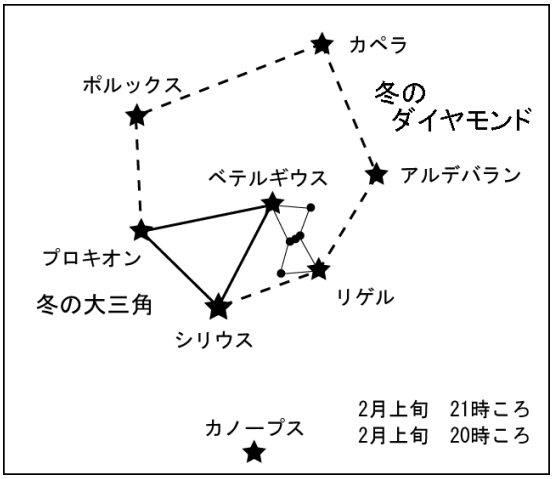
15日(木)の19時ころ、西の空に、明るい月が輝いています。そして、この月の左側を見ると、明るい星が輝いているのが分かるでしょう。この星が木星です。木星は-2.5等星で、普通の1等星の20倍以上明るいので、大変目につくでしょう。

なお、月と木星は、時間がたつと高さが低くなっていきます。21時ころまでに見るといいでしょう。

★冬の明るい星を見よう

冬の夜空は、右のように冬の大三角や冬のダイヤモンドといった分かりやすい星の並びがあります。これらの中で、最も明るいのはシリウスです。プロキオンも明るく、冬の大三角は大変目立つ存在となるはずです。ただ、夕方はまだ高さが低く、南の空高く見えるのは、20時から21時ころになります。

冬のダイヤモンドは冬の大六角とも呼ばれ、大変大きく広がっています。また、カペラは頭の真上を越してやや北の空よりに、ポルックスはほぼ頭の真上になります。右の図は、南の空を眺めたときの星空で、上が北、右が西、左が東となっています。



ところで、天気がたいへんいい時に限って、カノープスが見えることがあります。ただし、見える時間が短いのと、高さが低いので、なかなか見ることができません。このため、見えるといいことが起こる、長生きができる星ともいわれています。地平線付近まで晴れたときに、南側の山が見るような見晴らしがいいところで探してみてください。

冬の明るい星は、古くから注目され、日本でも特別な名前をつけて読んでいました。ぜひ明るさ比べとともに、色の違いなども観察してください

星の名前	星の色	明るさ	星座	日本での固有名 呼び方の理由
シリウス	青白	-1.46等星	おおいぬ	**青星**（あおぼし）青く見えるため
カノープス	白	-0.72等星	りゅうこつ	**おうちゃくぼし** 少ししか空に見えないので
カペラ	黄色	0.08等星	ぎょしゃ	**虹星**(にじぼし)　低い時にいろいろな色に見えるため
リゲル	青白	0.12等星	オリオン	**源氏星**(げんじぼし) 源氏の白旗の色に見えるため
プロキオン	白	0.38等星	こいぬ	**いろしろ** ずばり、白く見えるため
ベテルギウス	赤色	0.5等(変)	オリオン	**平家星**(へいけぼし) 平家の赤旗の色に見えるため
アルデバラン	オレンジ	0.85等星	おうし	**すばるのあと星** すばるのあとに昇ってくるため
ポルックス	オレンジ	1.14等星	ふたご	**金星**(きんぼし)　金色に輝いて見えるため
カストル	白	1.58等星	ふたご	**銀星**(ぎんぼし) 銀色に輝いて見えるため

※明るさは、数が少ないほど明るくなります。また、ベテルギウスの明るさの(変)は、明るさが変わる変光星(へんこうせい)という意味です。カノープスは、高度が低く、大気の影響で赤く、暗く見えます。